

令和4年度 小林市総合教育会議要点録

- 1 日 時：令和4年10月26日（水） 15時30分～17時00分
- 2 場 所：小林市役所 本館2階 第1会議室
- 3 出席者：小林市長 宮原 義久、副市長 鶴水 義広、教育長 中屋敷 史生
 教育委員 大部 蘭 智子、榎 光子、園田 貞哉、廣崎 真美
 関係課：教育部長 日高 智子
 学校教育課長 園田 恵津子
 社会教育課長 久保田 恭史
 スポーツ振興課長 松元 公孝
 教育指導監 根井 清
 学校教育課主幹 今西 敦子
 事務局：総合政策部長 山下 雄三
 企画政策課長 安楽 究
 企画政策課主幹 古沢 博文
 企画政策課主任主事 村脇 潤哉

4 内容 下記のとおり

発言者	内 容（要 旨）
事務局	1 開会 事務局から開会あいさつ。
市長	2 市長あいさつ ・本総合教育会議は、市長と教育委員会との連携を目的とした協議、調整を主な趣旨とする場である。 ・本日の令和4年度総合教育会議では、3つの議題について様々な視点から忌憚のない意見をいただき、今後につなげていきたい。
学校教育課長	3 議題 (1) 学校教育施設の現状と今後について ・資料に基づき学校教育施設の現状や今後の児童生徒数の見込み、今後の整備方針について説明。
教育委員	・市内には複式学級による授業を余儀なくされている学校もある。市内の子供達が適正規模の中で平等に教育を受けられるよう、早急に統廃合に関する協議・検討を進めていただきたい。 ・学校は地域の中心でもあるので、統廃合の検討に当たっては地域の実態やニーズを踏まえコミュニティ機能を取り入れるなど、学校教育施設の複合化も視野に検討いただきたい。 ・校区内に住宅を整備することで、若い世代の移住を促進し、子供の数を増やすような施策を講じてはどうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな学校の利点も感じているが、あまりに小規模化が進行すると大きな課題も出てくる。 ・市内の学校それぞれに課題はあると思うが、市内全体を見ながら、子供達が十分に学べる環境を整備し提供していく必要がある。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、比較的児童生徒数が多い学校も世代によっては大きく減少する可能性もある。 ・学校の統廃合はとても大きな課題ではあるが、現在ある学校施設全てを維持していくことは難しいため、子供にとっての教育環境を第一に考えた上で、市全体を見据えながら調査・研究を進めていく必要がある。 ・住宅の整備については、市が所有している土地などの活用も含め、民間事業者の取組に期待したい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年の小林市立小・中学校規模適正化審議会答申を踏まえ、小規模特任校制度を導入した。最初は利用者もいたが、長くは続かず現在はいない。次に、山村留学制度も検討したが、持続可能性に大きな課題があり導入を見送った経緯がある。このようなことから、いよいよ学校の統廃合の検討を進める時期に入ったと認識している。 ・検討するに当たっては、子供や保護者、地域住民等の多様な意見の集約・積み上げが出発点となるので、アンケート調査から実施していく必要がある。
社会教育課長	<p>(2) 今後の社会教育施設のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき社会教育施設の現状や今後の整備の考え方について説明。
教育委員	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホームは会員数も減少し、現在活動ができていない状況である。設置当初の目的は十分達成されたのではないかと思う。 ・社会教育施設も含め、公共施設全体の集約化を進めるべきと思う。 ・公共施設全体の集約化を進めるためには、市民の理解が大切となるので、公共施設の老朽化や維持費などの現状と課題について周知徹底を図っていただきたい。 ・文化会館と中央公民館の統合は、相乗効果が期待される。併せて、図書館、美術館、資料館の統合についても検討していただきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホームについては、当初の目的は達成されたこと、それを踏まえ他の自治体においても廃止が進んでいることから、廃止の方向で検討を進める。 ・中央公民館については、文化会館に統合する方向で検討を進める。

	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館及び資料館の整備については、例えば図書館と複合的に整備する方法等が考えられるが、財政面や必要性など総合的な視点から慎重に検討する必要がある。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、老朽化した社会教育施設をそのまま建て替えることは難しいため、集約化を図りながら、施設の機能を充実させていくことが望ましいと考える。
スポーツ振興課長	<p>(3) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき令和9年度開催に向けたスケジュールや今後の取組について説明。
教育委員	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地として機運を盛り上げていくためには、子供達を含め市民一人一人が競技を見るだけでなく、盛り上げるための何かに参加することが大切。 ・子供達には、この機会に全国レベルを感じてほしい。 ・自分が知っている競技を見ることは楽しく盛り上がると思うので、本市で開催される競技について、事前に学校を回るなどして、体験会等を実施してはどうか。 ・各競技の魅力を広く市民に伝えてほしい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達を含め、市民が行ってみたいと思うような仕掛けが大切。 ・大会だけで終わらせず、観光や地域の活性化に結びつくような仕組みを考えていきたい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・大会の開催に向け、体制づくりからしっかりと行っていく。 ・大会までの盛り上がりも大切だが、大会後の観光リピーターや合宿誘致などにつながるような仕掛けが大切。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は3つの議題について意見交換を行ったが、新しい視点での意見をいただきとても有意義であった。子供達にとっての環境を整えて、小林に住んで良かったと思えるように今後も努力する。
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、熱心にご協議をいただき感謝申し上げます。本日出された意見を参考にしながら、各施策に取り組んでいきたい。
	<p>5 閉会</p> <p>17:00 終了</p>